

収支予算書

2022年度

株式会社 日立製作所

1. 収支予算書

2022年度の収支予算書を以下に記す(表1)。

表1:2022年度収支予算書

※金額表示単位:百万

	費目	費目説明	予算額 (割かけ除く)
(1)収入の部	①認定事業委託費	FAST-HDJからの委託費用	87.6
		収入合計	87.6
(2)支出の部	①人件費	匿名加工医療情報作成等に関わる要員費用	103.6
	②環境サービス関連費用	データセンター利用等のサービス提供を行う設備の維持および保守に関わる費用	172.8
	③減価償却費	システム開発、設備投資に関わる償却費	100.6
	④一般管理費	各種管理費用	41.7
		支出合計	418.7
(3)収支			(331.1)
(4)法人税			0.0
(5)税引後利益			(331.1)

2. 収入計画

一般財団法人匿名加工医療情報公正利用促進機構(以下、「FAST-HDJ」という。)からの認定事業委託費用として、2022年度は87.6百万円を見込む。

3. 支出計画

A)人件費（表1.（2）①）

匿名加工医療情報作成等に関わる、下記の内容の要員費用を見込んでいる。

- ・医療情報・匿名加工医療情報のデータの蓄積・保有業務
（データベース管理）
- ・転送データ取込業務
（ファイル転送テスト(テスト用ファイル受信までの確認)、データ取込テスト))
- ・匿名加工支援業務
（データセット作成支援、評価・加工の実施支援、提供準備支援）
- ・オンサイトセンター利用支援業務
（環境割当、利用開始準備、データセンター利用状況ログ提供、データバックアップ作成）

B)環境サービス関連費用（表1.（2）②）

データセンター設備費用、ハードウェア・ソフトウェア保守費用および当該システムのセキュリティ維持等の運用保守に関わる作業費用として下記の内容を見込んでいる。

- ・データセンター設備、ハードウェア及びソフトウェアの提供業務
（データセンターファシリティ機能提供、ハードウェア機器提供、ソフトウェア機能提供）
- ・データセンター設備、ハードウェア及びソフトウェア稼働監視・運用保守業務
（ハードウェア監視、通信監視、ウイルス監視、データ量監視、アプリエラー監視、ユーザアクセス監視、監査ログ監視、セキュリティパッチ適用、バージョンアップ、ウイルス定義パターン更新、シグネチャ更新、インシデント対応、業務復旧）
- ・お問合せ対応及び報告業務
（問合せ対応、定期報告）
- ・その他認定事業関連業務
（データセンター監査対応、ペネトレーションテスト対応、教育・訓練）

C)減価償却費（表1.（2）③）

当該システムにおける機器およびシステム構築に関する費用を減価償却費として見込んでいる。

D)一般管理費（表1.（2）④）

認定事業を推進するうえで、匿名加工医療情報の利活用に係る理解促進を進め、匿名加工医療情報取扱事業者となる提供先の拡大を図るための営業支援活動や、認定事業推進における管理費用などを見込んでいる。